

ほくぶNNだより

小牛田農林高等学校農業農村整備事業学習会が 広報大賞優秀賞を受賞しました！

令和7年2月12日、東京都新橋にて、全国農村振興技術連盟主催の「農業農村整備事業広報大賞受賞式」が行われました。この広報大賞は、今年度で34回目となり、農業農村整備事業に係る広報活動の面で特に顕著な功績のあった団体に対して表彰を行っているものです。今年度は35団体の推薦があり、厳正なる審査の結果、当部で開催している「小牛田農林高等学校農業農村整備事業学習会」が小牛田農林高等学校との連名で広報大賞優秀賞に選ばれました。



▲表彰式の様子

小牛田農林高等学校農業農村整備事業学習会とは、小牛田農林高等学校農業技術科農業土木コースの1学年を対象に、農業土木や地域の農業について考えてもらうこと、将来を担う技術者候補として進路選択の一助とすることを目的として、平成18年度から毎年開催しているものです。継続的な学習会の開催により、これまで小牛田農林高等学校から21名が入庁するなど実績を上げています。



▲委員長と記念撮影

当日は、当部の職員及び小牛田農林高等学校2学年の生徒が出席し、全国農村技術連盟委員長より表彰状を授与されました。

農業農村整備「技術研修会」にて 北部地方振興事務所が最優秀賞を受賞しました！

令和7年1月29日に仙台市青葉区にて、宮城県農政部農村振興課主催の「令和6年度農業農村整備『技術研修会』」が開催されました。この研修会は、若手職員の技術力向上を目的として、各事務所の代表者が、現在取り組んでいる業務などについて成果を発表するものです。

当日は、宮城県職員のほか、市町村、改良区、建設会社や設計会社など、関係者およそ150名が参加しました。

当部からは「小牛田農林高校における農業農村整備事業を通じた人材育成について」と題して、成果発表を行いました。

初めに、県の農業土木業界における人材確保が課題となっていることを取り上げました。次に、当部主催の小牛田農林高校農業農村整備事業学習会の実績や今年度の取り組みと今年度から受け入れを開始した小牛田農林高校インターンシップの経緯や内容について紹介しました。インターンシップについては、小牛田農林高校卒の若手職員が中心となり、高校生目線で「どんなことを体験したいか」を考え、企画・調整を行いました。これにより、高校生たちは、実践に近い形で業務を体験することができ、インターンシップ終了後のアンケートでは「宮城県職員になりたいという気持ちになった」との感想が寄せられました。



発表の様子



表彰式の様子

審査は、審査員及び参加者全員によって投票が行われ、見事、北部地方振興事務所農村整備部が最優秀賞を受賞することができました。

このような活動が他事務所にも波及し、農業土木における、さらなる人材確保及び人材育成の一助になるよう、当部では今後も継続して小牛田農林高校との交流を行い、農業農村整備事業の発展を担っていきます。

砂子沢サイホンの応急対策工事を行っています

～農業用河川工作物応急対策事業 砂子沢地区～

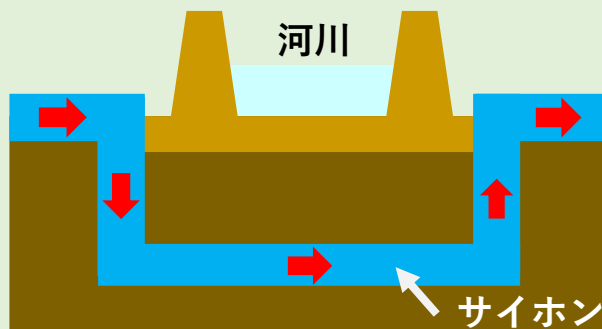
大崎市鹿島台に位置する砂子沢サイホンについて、農業用河川工作物応急対策事業を行っています。

砂子沢サイホンは、昭和40年代に築造された農業用排水施設です。平成15年の北部連続地震により被災し、大崎市が補修等を行ってきましたが、更なる改善措置が必要となったことから、今年度より対策事業を実施しています。

サイホンとは？

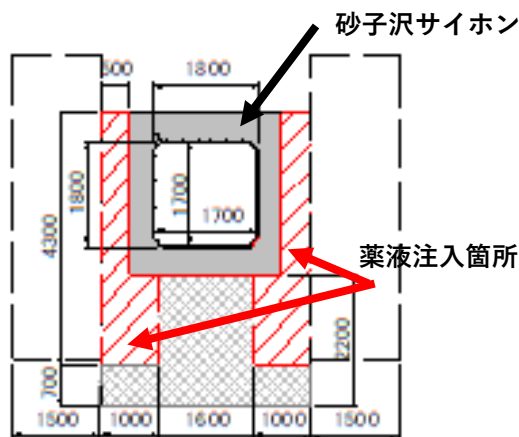
水路が河川や道路などの障害物を横断する際、鉛直方向にU字形に迂回させて水を送る施設です。

砂子沢サイホンは主要地方道石巻・鹿島台・色麻線及び二級河川広長川を横断し、流域の排水を下流に運ぶ役割を担っています。



今年度は、サイホン底盤に生じた空洞をモルタルで充填するための空洞充填工と、軟弱化したサイホンの両脇の地盤を強化するための薬液注工を実施しています。このような対策を行うことで、サイホン内部への漏水等により生じていた施設の不安定化を解消します。

▼薬液注入の様子



本地区のような対策を施すことで、施設の長寿命化が図られ、サイホン流域の被害を未然に防止することができます。

今後とも対策事業の完了に向けて、施工業者と調整を進めながら、安全に工事を行っています。

田尻中央地区・江合川左岸地区の 埋蔵文化財発掘調査成果展が行われました

大崎市鹿島台にある鎌田記念ホールにて、令和7年1月11日から3月2日にかけて県営ほ場整備事業田尻中央地区及び江合左岸地区の埋蔵文化財発掘調査成果展が行われました。これは、大崎市教育委員会の主催で、平成11年(1999年)から令和2年(2020年)までのおよそ20年間で行った発掘調査について、一般市民の方に成果をお知らせするため開催されたものです。成果展では、出土した土器の実物展示や古墳などがパネルで紹介されていました。



◀
展示の様子

展示では、縄文時代から奈良時代のその当時の人々が使用していた土偶や須恵器などを間近で見ることができ、暮らしの跡を感じることができました。この成果展は、大崎市内の地域ごとに行っているもので、今年度の成果展はすでに終了しましたが、来年度も行われる予定です。

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部
〒989-6117 宮城県大崎市古川旭4丁目1番1号
(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL：0229-91-0724

FAX：0229-23-5014

ホームページ：< <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/> >

大崎地域観光PR Facebook「アイラブオオサキ」

< https://m.facebook.com/loveosaki?_rdr >

Instagram「東北のへそ」

< https://www.instagram.com/tohoku_hesostagram/ >

Instagram「よしきたみやぎ」

< <https://www.instagram.com/yoshikitamiyagi/> >

